

令和3年度地域と市長のまちづくり懇談会

開催回次	令和3年度第4回	開催月日	7月25日	開催校区	賀茂校区	開催場所	賀茂校区市民館
議題				市の回答			
<p>1. コミュニティバスについて</p> <p>(1) 以下のルートを作っていただきますようお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下条を経由しない短縮したルート (目的地まで時間がかかるため) 豊川駅—賀茂のルート <p>(2) 和田辻までのルートを作るなどして、運行本数を増やすことはできないでしょうか。</p>				<p>都市交通課</p> <p>本市では、路線バスが廃止された地域など、交通事業者による従来の乗合型公共交通の運行が難しい地域では、日常の移動手段を確保するためにコミュニティバスが運行されています。コミュニティバスは、地域運営委員会が主体となって本市や交通事業者と連携しながら運営するものとなっています。</p> <p>この地域の「柿の里バス」は、北部7校区(賀茂、西郷、嵩山、下条、石巻、玉川、鷹丘)から構成される石巻・下条地域交通推進委員会(地域運営団体)においてバス停の位置やダイヤ、利用促進策など様々なことを検討しており、現行のルートは住民アンケートや実態調査などから要望の多かったルートになっています。</p> <p>一方コミュニティバスは、市の補助金により運行しているため、運行の継続基準として、①運賃等による収支率が15%以上、②欠損額が補助金の上限を超えないこと、③地域公共交通活性化推進協議会にて取組実績等を報告することの三点が設けられています。</p> <p>1つ目の下条を経由しない短縮したルートにつきましては、現状では、午前の1便は下条地区を経由しないルートがございますが、さらに増やすには、下条校区の利用者のニーズを確認しながら、地域運営団体においてルートやダイヤなどを調整する必要があります。</p> <p>2つ目の豊川駅—賀茂ルートにつきましては、直接豊川駅に乗り入れることや、豊川市のコミュニティバスのバス停との接続など様々な手法が考えられますが、賀茂校区利用者のニーズの確認や、豊川市の意向、お互いのルート、接続のためのダイヤの調整などの課題があります。</p> <p>和田辻までのルートにつきましては、鷹丘地区方面へ行っている利用者にとっては乗り継ぎが必要となり不便になることや、ルートやダイヤ変更により現在の主な利用者が離れてしまい、結果的に運行継続基準の達成が難しくなる懸念があるため、慎重に対応する必要があります。</p> <p>これらを踏まえ、ご提案いただきました時間短縮ルートや新しい目的地、運行本数の増加については、各地区のニーズや課題などを把握しながら、より良い運営について運営団体と共に本市も一緒になって勉強していきます。</p>			

開催回次	令和3年度第4回	開催月日	7月25日	開催校区	賀茂校区	開催場所	賀茂区市民館
議題				市の回答			
<p>2. スマートインターについて</p> <p>スマートインターができると聞いていますが、賀茂地区にどのような良い効果が期待できるでしょうか。市としての考えを聞かせてください。</p>				<p>道路建設課</p> <p>本市が期待するスマートインターチェンジの整備効果としては、主な内容として、産業活動の支援、地域活性化・観光振興、医療及び防災機能の強化等があります。</p> <p>その中で、スマートインターチェンジの整備が賀茂地区にもたらす主な効果としては、以下のことが期待できると考えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 浜松方面等への利便性が向上し、通勤圏や生活圏が拡大するため、遠方への通勤や買い物が便利になります。 2. 浜松方面等の医療機関へのアクセス時間が短縮するため、利用する医療機関の選択肢が増加し、利便性が向上します。 3. スマートIC周辺での開発や民間の企業進出等が期待でき、豊橋北部地域の雇用機会の増大等が期待できます。 4. 賀茂しょうぶ園等の観光振興が期待できます。 <p>これらの整備効果は、賀茂地区の地域活性化及びコミュニティー維持の一助になるものと考えています。</p>			